

環境にやさしいレンガ造りで世界に貢献

神奈川県の中小企業が東京都の中小企業と協力し、無焼成レンガを バングラデシュに普及

国際協力機構 (JICA) は 2018 年 8 月 23 日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査 (中小企業支援型)」において京浜蓄電池工業株式会社 (神奈川県横浜市、竜野昌登代表取締役) と、株式会社エイケン (東京都世田谷区、蜂谷英明代表取締役) が共同企業体として提案する「無焼成レンガ製造可能な無機質強化材および手動式レンガ製造機普及に係る案件化調査」(バングラデシュ国) を採択しました。

高い経済成長率を誇るバングラデシュ国(以下バ国)において、レンガの製造は、およそ 100 万人の雇用を生み出しています。しかしながらバ国では現在、石炭を燃料とする非効率な旧式の焼成窯を用いてレンガを製造しており、製造工程において年間 600 万トンに及ぶ CO2 を排出し気候変動を加速させるとともに、大気中への有害物質の排出により健康被害も引き起こしています。さらにレンガの原材料として、肥沃な農地土壌を使用するため、耕作可能な農地の減少ももたらしています。

株式会社エイケンの開発した無機質強化剤 ECO5000 は、普通の土、砂、セメントと混ぜ合わせて適切な方法で圧縮することにより、焼成せず十分に強度のあるレンガを製造することが可能な製品です。レンガの圧縮・製造には一定の技術が必要ですが、京浜蓄電池工業株式会社が開発した押圧式無焼成レンガ製造機を使用すると、非熟練労働者でも簡単に圧縮作業ができ、十分な強度のあるレンガを製造することが可能です。

これらの製品とともに無焼成レンガの製造をバ国に導入することで、現在バ国でのレンガ製造がもたらしている気候変動への悪影響や大気汚染問題の解決が図られるとともに、耕作可能な農地の減少が抑制されることが期待されます。



押圧式無焼成レンガ製造機



無焼成高品質レンガ

今回の調査では、バ国の環境省との協議や、無焼成レンガの現地での適合性の確認、ビジネス展開にむけた提携先の調査等を行います。

本事業は、「案件化調査 (中小企業支援型)」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012 年度から実施されており、2019 年度第 1 回分は 2019 年 4 月に公示を行い、46 件が採択されました(案件化調査)。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

・2019年度第一回中小企業・SDGsビジネス支援事業～案件化調査・中小企業支援型～採択案件

[https://www.jica.go.jp/press/2019/ku57pq00002lc2ll-att/ankenka\(chusyo\).pdf](https://www.jica.go.jp/press/2019/ku57pq00002lc2ll-att/ankenka(chusyo).pdf)

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 横浜センター 総務課 池上、増田
TEL 045-663-3252 e-mail: yictad@jica.go.jp